

～生かそう、地域の応援力!!～

# 学校支援ボランティア推進協議会

「学校支援ボランティア推進協議会」は、国の「学校支援地域本部」に関する事業を活用し、区市町村において、学校と地域が連携して、地域住民や保護者等がボランティアとして学校教育支援を行い、地域全体で子供の教育活動を支えていく取組です。東京都教育委員会では、この活動を都内に広げるとともに、区市町村における取組が円滑に展開されるよう支援をしています。ここでは、「学校支援ボランティア推進協議会」の概要と二つの自治体で展開されている活動事例を紹介します。

## 事業のねらい

住民が学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子供を育成する体制を構築することで、次の効果が期待されています。

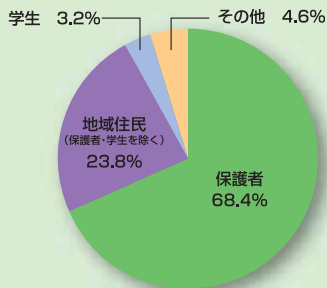
- ① 学校の様々な活動を地域等のボランティアが支援することで、教育活動の充実や教員が子供と向き合う時間の拡充を図ることができます。
- ② 子供が地域の大人と触れ合う機会や多様な経験をする機会を拡充することで、子供の生きる力の育成につながります。
- ③ 地域住民が自らの経験や学習の成果を活用する機会が広がることで、「生涯学習社会」の実現につながります。
- ④ このような活動を通じて、地域全体で子供を育てる環境が整備され、地域の教育力が高まります。

## 都内の取組状況

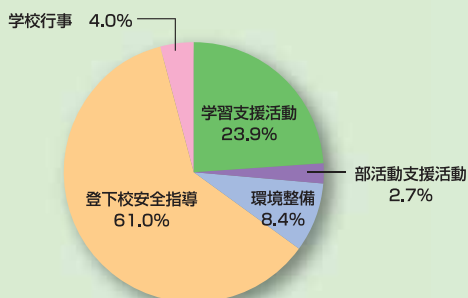
### 学校支援ボランティア推進協議会の取組状況

24年度計画：都内21地区710校  
(小学校491校・中学校219校)

- Q.どんな人がボランティアとして活動しているの？  
A.保護者が一番多く、次いで地域住民となっています。また、学習支援活動には教育課程を専攻している学生がボランティアとして活動しているケースもあるようです。



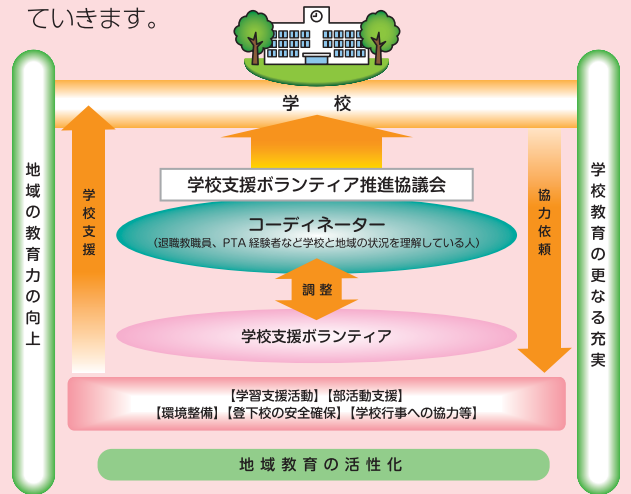
- Q.ボランティアの方は、どんな教育活動を支援しているの？  
A.登下校安全指導が一番多く、次いで学習支援活動、環境整備となっています。



(※グラフデータは22年度実績による)

## 事業の仕組み

学校とボランティア間の連絡調整等、学校支援事業の中核を担う「コーディネーター」、実際に学校支援活動を行う「学校支援ボランティア」、どのような支援を行っていくかといった方針や企画、立案を行う「協議会」で構成される組織で、学校支援活動を効果的に進めていきます。



## 東京都教育委員会の取組

### ◆ 推進委員会

学校支援ボランティア推進協議会事業の効果的な事業展開を図るため、学校支援に関する関係者を委員とした組織を設置し、本事業の普及・啓発、指導・助言に関する協議を行っています。

### ◆ 学校支援コーディネーター研修(出前研修)

コーディネーターの資質向上を図るための活動の一環として、20年度から各地区に出向き、その地域の实情に応じたプログラムでコーディネーターを養成する研修(出前研修)を実施しています。

講師による基礎的講義



ワークシートを使ったワークショップ



実践事例報告

### ◆ 事業普及活動

学校支援ボランティア推進協議会事業の設置・促進を図るため、広報誌やホームページ等を作成し、関係機関や小中学校へ向けて情報提供を行っています。